株主との対話の実施状況等に関する開示

● 株主との建設的な対話に関する方針及び対話に関する体制

当社は、株主をはじめとするステークホルダーとの建設的な対話を重要視し、経営状況や運営方針を正確・迅速に説明することにより長期的な信頼関係を構築することに努めております。資本市場との対話については、社長・IR担当役員を中心にIRの専任部署が対話の窓口となり、投資家向け説明会や個別面談等の対話の場を定期的に設定しております。また、これらの活動により得られたご意見やご要望は、定期的に全役員に共有し、経営やIR活動に反映しております。

● 主なIR活動

アナリスト・ 機関投資家向け	・ 四半期ごとに決算説明会を開催（登壇者：社長） ・ 個別面談を随時実施
個人投資家向け	・ 四半期ごとにアナリスト・機関投資家向け決算説明会の 動画、書き起こし、質疑応答の要旨をIRサイトで公開 ・ 株主通信発行、IRメールマガジン配信
社員向け (2025年度～)	・ 社員向け決算説明会を実施、半期ごとに年2回の開催を予定 (登壇者：社長、常務執行役員、執行役員) ・ IR情報の公開を周知
IR資料の ウェブサイト掲載	・ 決算短信、決算説明会資料、招集通知、有価証券報告書、 中期経営計画、説明会動画・書き起こし・質疑応答要旨 等

● 株主との対話の実施状況等

2024年度に行った株主・投資家等との対話の実施状況は以下の通りです。

主な対応者	・ 社長、IR担当役員、IR担当部署
対話を行った 株主・投資家等の概要 ※延べ社数	・ 個別面談（160社） 国内投資家：98社、海外投資家：48社 証券会社アナリスト：14社 ・ 決算説明会（4回開催/49社） 国内投資家：26社、海外投資家：10社 証券会社アナリスト：13社
対話の主なテーマや 関心事項	・ 収益性拡大に向けた施策 ・ 人的資本投資（採用・育成など）に対する取り組み ・ 資本効率や株主還元についての考え方 ・ 生成AIに関連する事業拡大の機会 ・ IT市場の変化に対する考え方、施策 等

	<p>過去の決算説明会における質疑応答の要旨は下記に掲載しております。</p> <p>https://www.comture.com/ir/irlibrary/briefingmaterial/</p>
<p>経営陣や取締役会に対するフィードバックの実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役会へ対話の状況を報告、議論（年4回） ・取締役（社外役員含む）、執行役員へ対話の状況を週次報告
<p>対話等を踏まえて取り入れた事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・投資家向け決算説明会における質疑応答の要旨の開示 ・EBITDA/EBITDA マージン（実績・予想）の開示 ・M&A のトラックレコードの開示 ・キャッシュアロケーションの開示 ・人的資本に係る非財務データの開示 ・事業区分別のビジネス拡大テーマの開示